

中田かわら版 4月号

～中田地区の地域活動をお知らせします～

発行：中田地区経営委員会

協力：中田連合自治会 泉区役所

制作：中田かわら版制作編集委員会

横浜市踊場地域ケアプラザ

interview

中田連合自治会会長 16年を終えて

前中田連合自治会会長 望月 榮さん



望月 榮さん(左)

連合自治会会長を16年。やめて5月で1年になります。要職から離れ一番変わったことは何ですか。

望月 毎日、天候の心配がなくなったこと。

中田はいろいろなイベントが多いですから。重責を下りて、少しは楽になったとか。

望月 あまり変わっていない。「二十日会」「子育てサロン」「地区社協」の顧問など毎回出席している。学童の登校日には毎朝7時30分から8時5分ごろまで歩道（街頭）に立って子供の補導をしている。20年ぐらいになる。

ほとんど毎朝というのもすごいです。子供や親から感謝されている。

望月 そうですね。ある時、子どもの卒業式の日、若いお母さんから「一緒に記念写真を撮らせてください」ということがあった。

望月さんと言えば「交通安全」（神奈川県交通指導員）。長いことやっています。

望月 昭和55年からですね。かれこれ40年ぐらい。

よかったこと、というと。

望月 新春健康マラソンに白バイが泉警察署から派遣され先導してくれるようになったこと。平成24年からです。その後、ポートエンジェルも参加している（女性白バイ）。

中田連合の自治会長になったいきさつ、動機について。

望月 その前に、昭和61年に奥津喬雄さんから「お前、交通部長をやれ」の一言で。平成14年の会長の時は小嶋文雄、小糸義信、長谷川昭男、井上静子さんらから推薦があり、引き受けることになったが、随分いじめられました。

小・中学校関係にも多く貢献されています。PTA会長は大変でしょう。

望月 この時も「望月って、どこの馬の骨だ」って言われた。でも、PTA会長（中田小）を務めたことを感謝している。市内各区の会長さんと出会い、連帯感ができた。葛野小では創立や初代PTA会長の選出など小糸義信さんらと苦労した。葛野の名称では「漢字」か「ひらがな」かに意見が割れたが、ひらがなだと「くず」は屑ともとれる。結局、植物の葛は生命力があり漢字に決まった。葛野は中田の発祥の地、由緒ある地名なので、残さなければいけないと思った。

私たちが住んでいる中田のいいところは。

望月 御霊神社の存在がある。初詣、祭り、神輿、中田囃子など。たくさんの方が集まる防災体制など、いざという時に役立つ。神人和楽という点でも、貢献していると思う。

連合自治会会長時代で一番思い出に残る出来事は。

望月 現在、長後街道は立派になったが、道路の拡幅で広町自治会にあった墓地の約半分が計画道路にひっかかり、移動させるのに大問題になった。「神様と仏さまには手を出すな」と先輩から言われたこともある。各種イベントで学校の協力を感謝している。

中田で望月さんに影響を与えた人をあげると誰ですか。

望月 たくさんいるが小糸義信、小嶋文雄、奥津喬雄、伊熊徳次郎、宮本忠直、小島孝一、井上静子さんらです。人間的にも成長させていただいた。今の自分があるのも皆さんのおかげです。

最後に聞きます。望月さんの元気、長寿の秘訣は。

望月 その源は、毎日の食生活での家内の協力があったからこそ。すごく感謝している。そして、よく眠ること。睡眠は7時間はとっている。在任中は大変お世話になり感謝しています。

貴重な話、いろいろありがとうございました。ご活躍祈っています。

（構成・文責 宮田貞夫）

～一人ひとりがCO₂を減らす努力をし、美しい地球を子どもたちに残そう！～



このチラシの情報をより詳しく知りたい方は、踊場地域ケ
アプラザ 葛西 (かさい) まで問い合わせください。

TEL 801-2114 FAX 801-2923



【寄稿】 地域と共に歩む 老人福祉センター横浜市泉寿荘

開所 30 周年記念にあたって

所長 颯田誠司

泉寿荘は、60 歳以上の市民の皆様を対象に、健康の増進、教養の向上及びレ
クリエーションの場として提供しています。現在、1 日約 200 人、年間約 6 万
9 千人の方が利用されており、自主事業の趣味の教室から発展したサークルは
約 130 団体を数えています。また、年間を通して演芸発表会、なごみの広場、落語を楽しむ会、映画鑑賞
会、歌声ひろば、せんじゅまつりなどの自主事業を開催し、多くの方々に参加いただいています。泉寿荘
は、平成元年 2 月に開所してから今年度で 30 周年を迎えることが出来ました。また、平成 31 年 2 月 16
日に「老人福祉センター横浜市泉寿荘開所 30 周年記念式典・祝賀会」を開催し、ご多用中にもかかわらず
ご臨席賜り、ご厚情のほど心よりお礼申し上げます。NPO 法人中川コミュニティグループは、泉寿荘
の指定管理者になって、今年で 8 年目を迎えます。益々進む高齢化社会にあつて、この施設が高齢者や地
域の皆様によりどころとなりますように、関係する諸団体の皆様とより一層の連携を図り、しっかりと取
り組んで参りたいと思います。

■ 健康マーじゃん教室 拝見 (其の 2)

私、今年ついてるかも!!

「マーじゃんなどやったことはありません」というあなた。
ゲームはしなくても実はもうゲーム中に使う言葉を日常的に
使っています。例えば、

テンパる……もう限界だ 転じて手詰まりの状態

和る (あがる) ……ゲームに勝利すること

連荘 (れんちゃん) ……続くこと

立直 (リーチ) ……リーチが掛かる

面子 (めんつ) ……和了 (あがり) に必要な牌の組み合わせ

錯和、冲和 (チョンボ) ……和了が成立していないのに和了を宣言すること。大失敗、大失態

他にも「安全牌」「白板」パイパン「ツモる」「両面」リャンメン「カンチャン」などがあります。

さて、かわら版 (30 年 9 月号) でご紹介した YN 自治会館で開催されている健康マーじゃん教室はその
後どうなったでしょう。会館の扉を開けると、いきなり大きな声が飛んできました。「これはフリテンだ
からヒト (相手) からはあがれません!!」…これは叱っているのではありません。コーチによる指導で、
耳の遠い高齢者さんへの気配りなのです。多少のハンデはお互い様。はた迷惑などと思わずに家から出て
きてみんなと一緒に遊べるようになりましょう…という意味です。

もう一つ、びっくりしました。当初は長テーブルを組み合わせてゴムマットを乗せただけの「マージャ
ン卓風」だったのが、なんと今は「麻雀卓」があります。自治会長と町内有志 (建設業さん) が工夫して
作ってくれました。コンパネ 2 枚を組んで脚台にして、その上に天板をはめ込みます。たためば 5 cm 幅の
隙間に収納できます。それがなんと 5 台もあります。アイデア商品として販売できそうです。

発足して 2 年が経ちました。前よりもスピードアップしています。コーチが呼ばれる回数も減ったよう
です。でもまだ一人、対面 (といめん) からチーをする人がいました。ルールを覚えるのが苦手なよう
です。それでも町内の一番遠いところから欠かさずにやって来ます。ボケ防止、介護要らずを目指して。「リ
ーチさえかかれば、一発・ツモ・裏ドラで満願で一す」 (編集委員 ウラドラ M)

【お願い】 各町内や施設などで実施されている健康マーじゃん教室の情報を集めています。

情報提供いただける方は、場所、日時、会員対象者、責任者 (名前・TEL) など差し支えない程度に「か
わら版編集事務局・葛西」まで メール・FAX でご連絡いただくと幸いです。

[メール : kasai@odoriba-cp.jp FAX : 801-2923]



「中田白百合地域情報サイト」にて地域の最新の情報や、かわら版バックナンバーなどを調べ
ることができます。 www.odoriba-cp.jp へアクセス!!